

人工膝関節置換術を 受けられる患者さんへ

お名前 様

入院日 年 月 日

手術日 年 月 日

病院の都合上、手術日を変更する場合がありますのでご了承ください。
その場合は、事前に連絡させていただきます。



人工関節・リハビリテーションセンター

—病診連携を推進し、安心・安全な治療を求めて—

飯田病院では、

2001年に人工関節手術を導入して以来、

症例数が7500件を超えました。(2024年 現在)

高齢化の進んだ当地域において、人工関節手術を受ける患者さんの平均年齢は70歳を超えています。最高年齢となる95歳の女性が両膝の手術をされ、リハビリテーションを行い、無事に退院されました。人工関節手術は、膝関節・股関節の疾患で痛みを悩む患者さんに対する“最後の切り札”と言えます。

安心・安全な治療が行えるように今後も努力していきたいと思えます。

【診療実績】

過去の年間平均症例数は、

膝関節・・・330例

股関節・・・150例

その診療実績は、「病院の実力」(読売新聞)「いい病院」(朝日新聞)に21年連続で掲載されています。

手術の概要

当院では2005年からほぼ全例で、体の傷や負担を最小限に抑える「最小侵襲手術 (MIS)」を行っています。より安全でリスクの少ない硬膜外・脊椎麻酔・催眠鎮静剤で行い、1時間以内の手術を基本としています。患者さんは手術直後からしっかり会話ができる状態で病室に戻ります。また、手術手技や時間だけでなく、食事制限の緩和や手術後に身体に装着するドレーン(管)を廃止するなど、入院期間中も最小侵襲を目指しております。リハビリは、手術の翌日から退院まで毎日、休日も行っています。



膝関節のしくみと役割

膝関節は、2つの関節が互いに協力し合って身体の動きを助けています。

どちらの関節も、軟骨が表面を覆っていて動きを滑らかにしています。

膝関節を傷めると

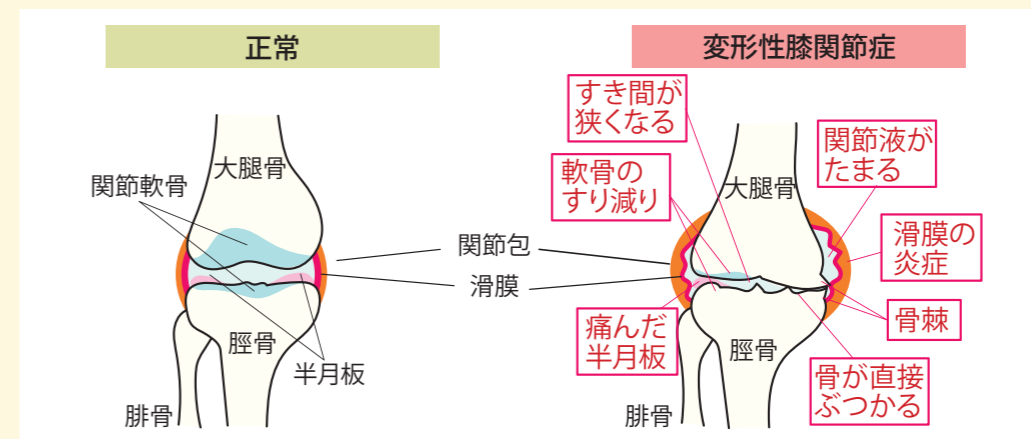
膝関節を傷めると、立ったり、座ったりという何気ない動きが困難になり、日常生活に大きな支障をきたしてしまいます。ひどい場合には、関節全体を変形させてしまうこともあります。

主な膝関節の障害

変形性膝関節症

若い時には柔らかく滑らかだった軟骨も加齢により徐々に硬くなります。ひどい場合には、軟骨がすり減り、骨がこすれて痛みを生じます。これが変形性膝関節症です。一般的に女性に多く見られる症状で、50歳前後から増加し、70歳代後半がピークとなります。

- ① 関節の内側が狭くなり凸凹ができてくる
- ② 軟骨の下の骨が硬くなってくる
- ③ 骨にとげができてくる

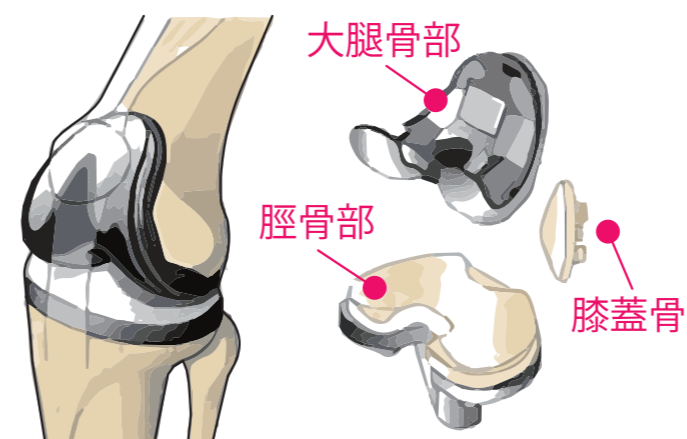


人工膝関節置換術とは

人工膝関節は、金属（ジルコニウム合金、コバルトクロム合金、チタン合金）とプラスチック（超高分子ポリエチレン）から作られており、大腿骨側、脛骨側、膝蓋骨の部品が組み合わさって関節を構成します（膝蓋骨は置き換えられないこともあります）。大きさや機種などは患者さんに適したものを選んで使用します。

耐摩耗性に優れ金属アレルギーの心配のない最新素材の表面セラミック化ジルコニウム合金で作られた大腿骨部品を使用し、膝関節の傷んでいる部分を取り除き、人工の関節に置き換える手術です。患者さんの関節の痛みを大きく和らげることが期待できます。

また、足全体のバランスが改善することにより日常生活の動作や運動が楽にできるようになります。



★踏ん張っても痛くなくなる
★脚がまっすぐになる

入院と手術の準備

体調を整える

- 1 風邪・感染症（コロナ・インフルエンザなど）や怪我に気をつけましょう。場合によっては、手術を延期しなければならないこともあります。また、心臓の病気や糖尿病などのコントロールをきちんとしておきましょう。
- 2 喫煙する方は、禁煙するように心がけてください。病院内は禁煙となります。
- 3 医師から指示されているトレーニングや運動は無理のない範囲で続けましょう。
- 4 手術が決まったらかかりつけの医師に「手術すること」を伝えましょう。

検査について

手術前に全身の状態を調べます。

- 心電図
- 呼吸機能
- 採血
- 骨密度など

いくつかの検査を行います。

病気に合わせてCTや超音波（心臓）の検査をさせていただきます。

感染予防のために



- 歯科受診をして虫歯の治療・口腔内のクリーニングをしてもらいましょう。
- 足に白癬（水虫）がある場合は、皮膚科受診して薬をつけましょう。

エコノミークラス症候群予防

- 水分を1日1000mL摂りましょう
- 座ったままでかかとの上げ下げを行いましょう。朝・昼・夕に10回ずつ行いましょう。



筋力低下を防ぐために



筋力を維持することは手術後の回復を助けることにつながります。椅子に座った状態で行える筋トレをしましょう。

- 筋トレ① つま先を上に向けて片足ずつ上げ2～3秒キープする。
- 筋トレ② 足踏みをゆっくり行う

この①と②を片足10回ずつ、朝・昼・夕に行いましょう。

手術前には入退院支援センターで

- 入院についての書類などの案内をします。
- 持ち物についてもご案内します。パジャマなどの貸し出しのご案内もします。
- 薬剤師が、今飲んでいるお薬・サプリメントなどを確認します。
- 必要に応じて入院前に中止して頂くお薬の説明をします。



医療費について

人工膝関節置換術は、高額療養費制度の対象となり、世帯の所得に応じて医療費の自己負担分が助成されます。詳しくは、病院事務窓口などにお尋ねください。

自宅での準備

退院後に生活しやすいように、自宅の内外を準備しておきましょう。

手すり

階段、浴室、トイレ、廊下などに手すりがあるとよいでしょう。

寝具

布団よりもベッドの方が楽です。

トイレ

トイレは洋式が良いでしょう。和式便器に置くタイプもあります。

敷物やコード

床の上の小さな敷物や電気コードなどは滑ったりつまずいたりして危険です。しっかり固定するか取り除きましょう。

入院から手術まで

入院後

ビデオ視聴

病棟でエコノミークラス症候群についてのビデオを見ます。

シャワー浴

手術前日に入浴またはシャワー浴をします。

飲食時間

飲食をやめる時刻を看護師から伝えますのでお守りください。

薬について

毎日飲んでいる薬も、手術当日の朝服用するか看護師に確認してください。

手術室へ入ったら

① 麻酔

麻酔をかけます。

② 消毒

手術する脚を消毒します。

③ 駆血帯使用

駆血帯により、手術する脚の血流を一時的に止めます。

④ 切開

膝の皮膚を切開して関節包を開き、膝関節に達します。

⑤ 摘出・固定

傷んでいる骨と軟骨をきれいに除去し、人工関節を入れて骨とセメントで固定します。

⑥ 縫合

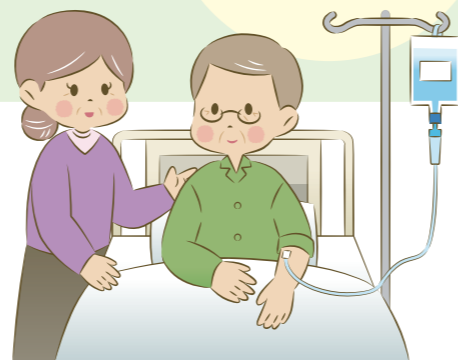
切開した皮膚は医療用のホッチキスか糸で縫合します。

レントゲン検査

手術が終わったらレントゲンを撮って確認してから病室へ戻ります。

手術時間

手術は、皮膚を切っただけから縫い終わるまで約1時間程度です。



手術に伴う合併症について

ほかの手術と同様に次のような問題が起こる場合があります。

- 麻酔の副作用
- エコノミークラス症候群（静脈血栓症・肺血栓閉塞症）
- 感染（傷口からの感染など）
- 周辺の血管・骨・神経の損傷
- 輸血による合併症

このほか手術中の予測不可能な出来事に対して、医療処置が必要になる場合があります。

人工膝関節置換術の合併症

- 人工関節のゆるみ・損傷・摩耗（すり減り）
- 二次的骨折
- 手術創部（傷口）周辺の知覚異常
- 人工材料による生体の異常反応

手術後

● 手術室から出てきたら家族の方と短時間ですが、面会ができます。



● 手術直後は、血圧や体温測定などを行い患者さんの状態を観察します。

● CPM と呼ばれる膝の柔軟性を保つ器具を使って、膝を痛くない範囲でやさしく曲げ伸ばしします。

● エコノミークラス症候群の予防のためにふくらはぎや足の裏を圧迫して血行を促す機械を付けます。また、患者さん自身でも足が動くようになったら足首を動かしてください。血栓予防の薬を投与する場合があります。

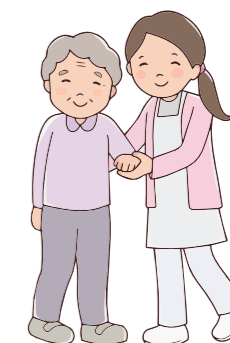
痛みに対して

数日間は、鎮痛剤を投与します。薬を使っても多少痛みを感じることもあります。薬で痛みが和らがない、具合が悪くなるような場合は、必ず医師・看護師にお知らせください。

退院まで

手術翌日からリハビリを開始します。

退院まで約2~3週間ですが、病状によっては長くなる場合があります。



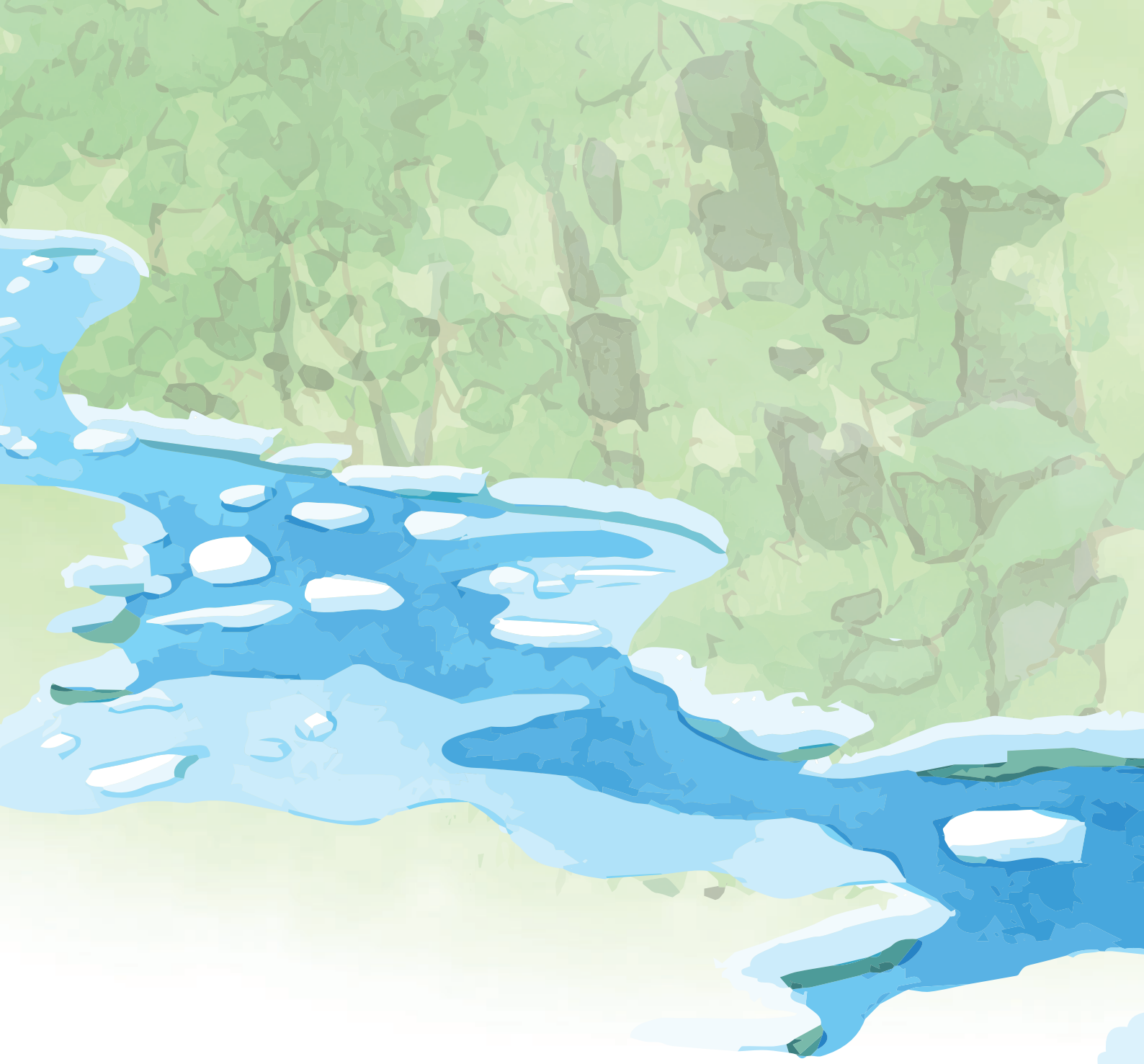
退院後

- 脚の筋力が安定するまでは杖を使用した方がよい場合があります。
- 正座ができるかどうかは、術前の膝関節の状態や人工関節のデザインなどにより異なります。医師にご確認ください。
- 旅行やウォーキング、農作業、ゴルフ、登山など続けていただいてもかまいません。
- 手術した部位は、清潔に保ち、傷をつけないように気をつけましょう。
- 骨粗しょう症の予防のためにバランスのよい食事と適度な運動が効果的です。体重が増えないように気をつけることも大切です。

受診について

- 退院後は、必ず受診しましょう。痛みがなく調子よくても年1回の経過観察は大切です。
- 膝関節やふくらはぎが痛い、腫れてきた場合は、速やかに受診してください。
- 傷口が異常に赤くなる、熱がある、膿や血がでている場合も受診してください。

心配なことがございましたら、スタッフへお気軽にご相談ください。
人工関節とともによりよい生活を送りましょう。



人工関節・リハビリテーションセンター

TEL 0265-22-5150(代)

〒395-8505 長野県飯田市大通1丁目15番地

<http://www.iida.or.jp/medicalcheckup/>

[受付時間] 月~土 8:30~17:00

